

特定非営利活動法人 A SEED JAPAN 第 7 回通常総会議事録

1. **開催日時** 2020 年 7 月 26 日（土） 14 時 30 分～17 時 00 分
2. **開催場所** JICA 地球ひろば（東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル内）
3. **出席状況** 正会員総数 105 名 有効数 57（うち出席 4 個 オンライン出席 8 個 委任者 32 個、書面表決者 13 個）

以下、敬称略

出席役員：濱田恒太郎、江口健介、三本裕子（オンライン）、矢口拓也（オンライン）

出席正会員：小川暁平、石原遼平

出席正会員（オンライン）：鈴木香織、山本悠久、羽仁カンタ、宮腰義仁、片山新悟、大村哲史

出席準会員・サポーター：富田一

4. **議決権総数** 105 個 有効議決数 57 個

定刻、司会より、議長として濱田恒太郎を指名することの提案があり、これを諮ったところ全員異議なく承認しました。その後、定足数の確認を行いました。有効出席数及び有効議決権数について確認をし、直ちに議案の審議に入りました。

議事録署名人：小川暁平、江口健介

5. 議事

第 1 号議案 議決事項 1：2019 年度事業報告

各プロジェクト・チーム担当理事より 2019 年度活動報告について説明が行われ、質疑応答を行いました。

<事務局報告>

- ・Spring 会員は、減少傾向にある。もともと活動していた社会人になってもらっていたが、活動メンバーの減少もあり、新規の Spring 会員は増えなかった。
- ・退会の理由として、会員サービスが十分ではなかったこともあるかと思う。なかなか手間が回らなかったことは反省点。気持ちが離れて行ってしまったケースもあると思われる。
- ・一方で、子育て世代の方で経済的な理由や、引越しをして地元の団体に寄付したいからなど前向きな理由を書いている方もいて、NPO 業界全体としては広がっている見方もできると思う。
- ・プロジェクト外に関しては、Fridays for Future への活動に参画し、運営面でのサポートを行っ

た。

【議決】

◆賛成 55 個（うち出席 12 名、委任 32 名、書面表決 11 名）反対 1 名（うち書面評決 1）、棄権 1 名（うち書面評決 1）

【質疑応答・意見交換】

・理事・事務局より：事前に会員のみなさんからいただいた質問へ回答させていただきました。

・質問：人が出入りについての表記があるが、どんな表現になっているか？

→回答（浜田）：運営面（事務局インターンなど）の人の動きについては、いつ参加していつ退会したかの記録はとっていませんでした。

・質問：核ごみプロジェクトについて、独立の表記はあるか？

→回答（浜田）：2019 年度 SEED PLAN 報告をまとめているときには、2020 年度どうするか議論している途中だったため、活動報告には記述はありません。

・質問：核ごみプロジェクトは独立するのか？

→回答（浜田）：2020 年度から独立する。

→質問者：それは素晴らしいことだと思う。

第 1 号議案 議決事項 2：2019 年度決算

事務局より、2019 年度決算について説明を行いました。

【議決】

◆賛成 55 個（うち出席 12 名、委任 32 名、書面表決 11 名）、反対 1 名（うち書面評決 1）、棄権 1 名（うち書面評決 1）

【質疑応答・意見交換】

・質問：業務をどれだけ外注しているか？決算書類上で詳細を把握することは難しいのでお伺いしたい。

→回答（富田）：勤務先の勤務時間が変わり、ボランティアで会計業務を行うことが難しい状況になった。2020 年 1 月-6 月は業務委託として請け負っている。7 月以降は西島さんを中心に会計業務を任せていくことになっています。

6. 報告

報告事項 1 : 2020 年度事業計画

2020 年度活動計画について説明が行われ、質疑応答を行いました。

【質疑応答・意見交換】

報告事項 2 と合わせて行いました。

報告事項 2 : 2020 年度予算（案）報告

2020 年度予算について説明が行われ、質疑応答を行いました。

【質疑応答・意見交換】

・質問：今まで積みたててきた資産があるにも関わらず、2020 年度は活動プロジェクトも無い中で会費を請求するのはいかがなものか？

→回答（浜田）：今回総会の議決事項として提案するまで議論が進まなかった。ご指摘の部分は、今後理事会などで検討したいと思います。

・質問：活動プロジェクトが無い中で、事務局で有給スタッフを雇う必要はあるのか？

→回答（浜田）：総会の開催や対外的な対応など理事の手が回らない部分が多く、週の限られた時間をお願いしています。

・質問：有給スタッフはいた方がいいと思うが、事務所の家賃など削減する手立てを考えてもいいかもしれない。これは質問ではなくてアイデアだが、コロナ禍でオンライン会議やイベントが増えている。ASJ が IT 会議ツールを有償で契約し、若い活動グループに貸し出すなどはどうか。

→回答（浜田）：アイデアを寄せていただきありがとうございます。検討します。

・質問：NPO 法人としてのリーダーシップが無いということか？

→回答（浜田）：いまの理事 3 人はプロジェクトのリーダーとして動くことが物理的に難しい。ASJ を形作ってきたみなさま、関わってくださった方と話し合っていくために、いちど立ち止まる選択を取りました。

・質問： 이슈に取り組んでいる姿を見せつつ一度立ち止まるという見せ方は検討できなかったのか？

→回答（西島）：プロジェクトがすべて解散する中で、誰が引っ張るかという難題があったと思う。

・質問：有給スタッフにキャンペーナーを雇う選択肢はあるのか？

→回答（浜田）：同様の提案をもらったことがあり、検討したいと思う。

→質問者（羽仁）：外部から雇うのではなくて、内部や近い団体に呼び掛けることがいいと思う。

報告事項3：2020年度役員について

2020年度役員（浜田、江口、三本）を紹介した後、意思表明を行いました。

浜田：ASJでの出会いは大きなもので、今にあったかたちにしていきたいと思っている。試行錯誤しながら、会員のみなさんにも協力してもらいつつ、一緒にやっていきたいと思っている。

江口：ASJにお世話になったという責任感で理事をしている。議論を関係者とすることが大事だと思っている。

三本：OJOB やいまここにはいないけれども一緒に活動してきた仲間との対話も通じて、ASJの新しい活動の形を模索する1年にできたらと思っています。

7. 議事録署名人の選任

議長より、議事録署名人として、江口健介と小川暁平の2名を指名したいとの提案があり、これを諮ったところ全員異議なく承認しました。

以上の報告をもって、議長は17時00分閉会しました。

以上